

第6回

中国百科検定 問題 特級(文化・芸術・風俗習慣)

第1問 漢字は新しい事態を表す文字を作る機能に優れ、時とともに膨大な数になっていった。この漢字の起源とされる甲骨文字は、いつの時代のものか。

第2問 中国語は語自体に品詞を表す標識がなく、また日本語のテ、ニ、ヲ、ハのような助詞も乏しい。言語類型からすると、日本語は膠着語に分類されるが、中国語は何語に分類されるか。

第3問 1943年に公表された『文芸講話』は、「文学は労働者、農民、兵士に服務する」とし、中華人民共和国では文学の指針として今も強い力を持つ。この『文芸講話』は誰が行った講演か。

第4問 『駱駝祥子』や『四世同堂』などの小説で北京の人々を哀愁漂う筆致で活写し、中華人民共和国で人民藝術家と称され、2019年に生誕120周年を迎えた作家は誰か。

第5問 1917年に胡適や陳獨秀が古典文学からの脱却を主張し、1920年代には郭沫若や郁達夫等を成員とする（　）社をはじめ文学団体がいくつか結成されて、新しい文学が定着していった。（　）に適切な漢字2文字を入れなさい。

第6問 中国南部の楚の国の歌を集めた『楚辞』の中心的な作者である屈原は大臣として活躍したが、勢力争いに敗れ汨羅に身を投げた。怒りと悲しみにとらわれた屈原の代表的な歌は何か。

第7問 漢代には「賦」というジャンルが栄え、きらびやかな言葉をならべた大作が多く詠まれた。この賦をはじめ多くの詩文を収集し、南北朝時代に梁の昭明太子が編纂した詩文集は何というか。

第8問 東晋から南北朝時代の人で、農村で暮らしながら自然と農村生活を詠い、「菊を探る東籬の下 悠然として南山を見る」（「飲酒」）の詩句があるのは誰か。

第9問 中国の詩は、『詩経』では1句4文字の四言詩だったが、後漢から六朝時代にかけて五言詩が一般的となり、さらに（　）言詩が生まれた。（　）に適切な数を記しなさい。

第10問 南北朝時代に流行し、『搜神記』や『列異伝』などの作品集に編まれた短編を何小説というか。

第11問 南北朝時代から、文章を4字や6字で区切り韻を踏む駢文が流行し、内容より形式を重んじるようになった。だが、中唐に入り、韓愈や柳宗元が自然な文体を創出しようと新しい文学運動をおこした。その文体を何文というか。

第12問 唐代は文学の流れにより初唐、盛唐、中唐、晚唐に区分される。中国を代表する李白と杜甫が生きた時代が盛唐である。この二人と同じ盛唐の詩人を一人記しなさい。

第13問 明代には、それまでの断片的な物語を整理して、章や回に分けた「章回小説」と呼ばれる長編小説が現れた。その代表的な作品で、関羽や張飛が活躍する小説は何か。

第14問 『(　　)外史』は、清代の白話小説で、当時の知識人の生態を鋭く風刺し、科挙の弊害をついた作品である。(　　)に適切な漢字2文字を入れなさい。

第15問 1935年の映画『風雲兒女』は、日本による満州侵略を間接的に描き、その主題歌は力強いメロディーと歌詞で歌い継がれ、中華人民共和国の国歌に定められた。この歌は何か。

第16問 中国北部の農村に伝わる物語をもとに1945年に作成された歌舞劇で、「北風吹いて」のテーマ曲が愛され、1950年代に映画化され半月で数百万の観客を得た作品は何か。

第17問 1966年文化大革命が始まると、毛沢東夫人は映画界を攻撃して、「(1949年以来の)17年間の映画はすべて毒草である」ときめつけた。この女性は誰か。

第18問 映画『黄色い大地』で撮影を担当し、『古井戸』では主演男優を務め、『紅いコーリヤン』では監督としてベルリン国際映画祭グランプリを受賞したのは誰か。

第19問 映画『戦場の花』(原題『小花』)で演技力が注目され、文化大革命期の庶民を描いた『芙蓉鎮』に主演、『西太后』やテレビドラマ『則天武后(武側天)』でも存在感を示した女優は誰か。

第20問 高倉健と中野良子が主演し、文化大革命直後に中国で上映されて大ヒットした日本映画は何か。

第21問 『レッドクリフ』は、3つの地域の映画人が結集して制作した大作である。3つの地域とは、中国、香港と、どこか。

第22問 台湾の李安監督の『グリーン・デスティニー』は、2001年に米アカデミー賞外国映画賞を受賞し、21世紀の(　　)映画を開花させたと評価されている。(　　)に適切な漢字2文字を入れなさい。

第23問 長江下流の華南、江南は、古来より水に恵まれ、米を原料とする醸造が盛んで、
(　　) 香醋はこの地の代表的な醸造品である。(　　) に適切な漢字2文字を入れなさい。

第24問 四川省は高温多湿な地域が多く、発酵食品が発達している。このうち、
豆板醤は、唐辛子と何豆を発酵させて作るか。

第25問 北宋の文学者、蘇軾が得意とした豚肉の料理で、現代にも受け継がれている料理は何か。

第26問 浙江省の黄酒で、熟成期間が長いほど味わいが増し、地中で保存するのがよいとされるのは、何酒か。

第27問 滿漢全席は何族始めた料理か。

第28問 「川菜」は四川の料理、「湘菜」は湖南の料理のことである。
では、「京菜」とは、どの都市の料理か。

第29問 中国茶は発酵の度合いによって、緑茶、白茶、青茶、紅茶、黄茶、黒茶の6つに分けられる。
世界三大紅茶のうちの1つであり、中国を代表する紅茶は何か。

第30問 海上交易が盛んで食材も豊富であり、中国でもとりわけ食に対する意識が高く、
「食は（　　）に在り」と言われる都市はどこか。

第31問 図のようなハスや、ざくろ、ピーナツ、ナツメなど
中国で好まれる植物には、どのような願いが託されているか。



第32問 「耄耋」(マオティエ もうてつ)とは長寿をいう。ここから、ある動物と蝶が
長寿の象徴として描かれるようになった。その動物は何か。

第33問 京劇の役柄には、男性役、女性役、隈取りの豪傑役、道化役がある。
このうち、女性役を旦という。では、男性役を何というか。

第34問 漫画という語は日本の造語である。1921年に日本へ留学して美術、音楽、日本語を学び、
中国に帰国してから漫画という語を広めたのは誰か。



この人物が描いた魯迅『故郷』挿絵

第 35 問 2022 年には北京冬季オリンピックが開催されるが、以前の北京夏季オリンピックでは、大規模施設建設、環状道路整備、伝統的な街なみの撤去が加速した。このように北京の姿を大きく変えた北京夏季オリンピックは何年に開催されたか。



北京冬季オリンピックは 2022 年開催予定

第 36 問 唐代には日本に伝わって 838 年に初めて日中対決が行われ、近年では 1984 年以降、16 回の日中対抗戦が開催された頭脳のスポーツは何か。

第 37 問 漢字の書体は、篆書、隸書、草書、行書、楷書の順に確立していった。このうち、後漢の時代に、篆書を実用に使えるようにした書体はどれか。

第 38 問 書は、4 世紀ごろから芸術として確立した。この時期に書聖と称され、当時の文化人の人生観を示す行書の傑作『蘭亭序』を代表作とする人物は誰か。

第 39 問 中国の四大発明の 1 つである紙は、前漢の時代の遺跡からも出土しているが、後漢の時代に、従来の製紙法を改良して文字を書くに足る実用的な紙を作った人物は誰か。

第 40 問 中国四大発明の 1 つである羅針盤によって、大航海が可能となった。永楽帝に仕えた宦官の鄭和が、大艦隊を率いてアフリカにまで至ったのはいつの時代か。